**<韓国日本学会投稿論文作成のご案内>**

**\* 작성 프로그램 : 한글 2007 이상 (해외투고자에 한해 MS-Word 2007 사용 가능)** **\*作成プログラム：ハングル2007以上（海外からの投稿者に限り、MS-Word 2007の使用可能）**

【편집용지】<B5용지> 위15, 머리말13, 왼쪽17, 오른쪽 15, 아래 20, 꼬리말 0, 제본 7 **【編集用紙】**<クラウン版 176\*248mm >　上25、ヘッダー15、左26、右26、下25、フッター0、製本0

**【논문제목】상대 일본어의 음절 구조 (신명조17, 진하게, 가운데) 【論文題目】上代日本語の音節構造（新明朝16、太字、中央）**

\*\* 1줄 \*\*(글자크기 10, 줄간격 170) ＊＊ 1行＊＊（文字サイズ10、行間170）

【학회비 납부여부】(글자크기 10, 줄간격 170) **【学会費納付状況】**（文字サイズ10、行間170）

【필자명】 金 基 童 (신명조 12, 줄간격 100) **【筆者名】**金基童（新明朝12、行間隔100）

**【e-mail address】 e-mail address(신명조 8, 줄간격 100) 【e-mail address】**e-mail address（新明朝8、行間隔100）

【요지】 <필자명과 e-mail 주소, 요지 사이는 비우지 않음> **【要旨】**<筆者名とe-mailアドレス、要旨の間は行を空けない>

< 요 지 > <要旨>

작성언어 : 영어(권장) 또는 일본어作成言語：論文の最初のページは英語、最後のページは韓国語で作成

분 량 : 논문 1면의 1/2쪽 이내分量：英文・韓国語文両方とも18～20行、１ページ以内に。

글자크기 : 신명조 또는 신명조약자 8, 줄간격 140文字サイズ：新明朝または新明朝略字10、行間隔160

**【주제어】주제어: 검색의 편의를 위해 주제어(key word)를 명시(요지와 동일 언어로 3-5단어) (신명조 8, 진하게) 【キーワード】**キーワード：検索の便宜のためにキーワード（key word）を明示（要旨と同じ言語で3-5語）（新明朝8、太字）

最初のページには論文題名、投稿者情報（名前、e-mail）、英文の要旨、英文のキーワード、謝辞だけで構成し、最後のページは韓国語の要旨、韓国語のキーワードだけで構成する。

\*\* 2줄 띄움\*\* ＊＊ 2行空ける＊＊

**【큰제목】1. 【大題目】1． 연구 목적 및 방법 (신명조 12, 진하게, 줄간격 170%, 문단아래 10pt)研究の目的と方法**（新明朝12、太字、行間隔170％、段落下10pt）

【본 문】 이 논문은 상대 일본어의...... **【本文】**この論文は、上代日本語の...... (신명조 10, 줄간격 170%) （新明朝10、行間170％）

\*\* 2줄 띄움\*\* ＊＊ 2行空ける＊＊

**2. 2． 상대 일본어의 특징上代日本語の特徴**

(작은 제목과 본문사이는 띄우지 않음) （小題目と本文の間は行を空けないこと）

**【인용문】아날로그적인 것과......(글자모양 : 신명조 9, 줄간격 170%) 【引用】**アナログ的なものと......（字体：新明朝9、行間170％）

(문단모양 : 왼쪽 30pt, 들여쓰기 안함) （段落の形：左30pt、インデントなし）

【각 주】 ──────── **【脚注 】**────────

1) 이에 대해 有坂秀世(1957)은 다음과 같이 논하고 있다.(신명조 8, 줄간격 140%) 1）これに対し、有坂秀世（1957）は次のように論じている。（新明朝8、行間隔140％）

(문단모양 : 왼쪽 10pt, 내어쓰기 10pt) （段落の形：左10pt、 インデント10pt）

※ 각주와 인용문 작성시 스페이스바로 밀어서 열을 맞추지 마시고 반드시 문단모양의 왼쪽여백과 내어쓰기를 이용해서 맞추기 바랍니다. ※脚注と引用文の作成時にスペースバーでスライドさせて列を合わせず、必ず段落の形の左余白とインデントを利用して合わせるようにしてください。

**5. 5． 맺음말おわりに**

이 논문에서는......この論文では......

\*\* 2줄 띄움 \*\* ＊＊2行空ける＊＊

**※ 語学分野などの論文は用例出典を明記し、以下のような形式をもって作成**

**【用例出典】**（新明朝12、行間隔170％、段落下７pt、インデント20pt）

나쓰메 소세키 저(오유리 옮김, 2002),『마음』, 문예출판사 （新明朝8、行間隔140％、インデント45pt）

목종균·이정옥·이유선 역(2011),『일본어문형사전 한국어판』, 시사일본어사

グループ・ジャマシイ(1998)『日本語文型辞典』くろしお出版

新潮社(1995)『CD－ROM版新潮文庫100冊』

**【関連ウェブサイト及びコーパス】** （新明朝12、行間隔170％、段落下７pt、インデント20pt）

한국교육개발원교육통계·연구센터,『2014년 하반기 유초중등 학교교육통계』http://kess.kedi.re.kr/index (자료실→교육통계) (2016년6월7일 검색)

国立国語研究所コーパス開発センター『 現代日本語書き言葉均衡コーパス』http://www.ninjal.ac.jp/corpus\_center/bccwj/　(2016年6月7日検索）

日本語係り受け解析器「CaboCha」http://code.google.com/p/cabocha/　(2016年6月7日検索）

文化庁(編)(2014)『平成25年度「国語に関する世論調査の結果の概要』

http://www.bunka.go.jp/tokei\_hakusho\_shuppan/tokeichosa/kokugo\_yoronchosa/ (2016年6月7日検索）

(줄간격140, 내어쓰기45pt, 글자크기 8p)

【참고문헌】◀ 참고문헌 ▶ **【参考文献】**◀　参考文献　▶ (신명조 12, 줄간격 170%, 문단아래 10pt, 들여쓰기 20pt) （新明朝12、行間隔170％、段落下10pt、インデント20pt）

김종식(2012), ｢한국 일본학연구에서 역사연구의 성격 : 한국 일본학회를 중심으로｣,『일본학보』, 제91집, 한국일본학회, pp.45-59. UCI : http://uci.or.kr/G704-000247.2012..91.020

오현석(2017), ｢일본에서의 부르디외의 이론에 관한 해석｣, 『일본학보』, 제110집, 한국일본학회, pp.249-363.

UCI : http://uci.or.kr/G704-000247.2017..110.013.

DOI : https://doi.org/10.15532/kaja.2017.02.110.349

최승현(2007), 『화교의 역사 생존의 역사』, 인천: 화약고. pp.131-133.

川喜多長政(1980), ｢私の履歴書｣,『日本経済新聞』, 1980.10.30.

J. Milroy(1992), Linguistic variation and change, Basil Blackwell Ltd, p.45.

陳光興(2006), 『去帝國: 亞洲作爲方法』, 台北: 行人出版社. Chen, G.(2006), 『QuZhongguo: Yazhouzuoweifangfa』, Taibei: Xingrenchubanshe, p.23.

Ли, М. Е.(2008),『Между жизнью и культурой: философско- эстетическийпроект М. М. Бахтина』,　 pp.157-159.

\* <필자명(연도) 논문명(또는 저서명), 게재지 권 호, 발행처>의 순서로 배열 ＊<筆者名（年）論文名（または著書名）、掲載誌巻号、発行所>の順に配列

\*문헌배열: 국문, 일문, 영문 순으로 하며 필자명을 기준으로 각각 가나다, 오십음, 알파벳 순. ＊文献の配列：韓国語、日本語、英語の順であり、筆者名を基準にそれぞれ 가나다、五十音、アルファベット順。 日本語文、又は英文で作成した論文は該当言語の文献を最初に書く。

\*인용 또는 참고한 쪽수를 명기 ＊引用または参考にしたページ数を明記。学術誌掲載論文の場合、当該論文の掲載初ページ～掲載最後のページを明記。

 ＊論文識別子であるUCI,DOIのある論文の場合、UCI,DOIを記入。

**【필자인적사항】 【筆者個人情報】**

근 무 처 : 직 위:勤務先：　　　　　　　　　役職：

주민등록번호 :住民登録番号後ろの第一桁まで：

주 소 : <우편번호> (※교정지 받으실 주소를 명기해 주십시오)住所：<郵便番号>（※校正紙受け取りを希望する住所をご記入ください）

전화번호 : HP :電話番号：　　　　　　　　　　　　　携帯電話：

E-mail : 한자 필자명: E-mail：　　　　　　　　　　　　　　漢字の筆者名：

영문 제목: 영문 필자명:英文タイトル：　　　　　　　　　　　英文著者名：

발 표 일 : 발표장소 :発表日：　　　　　　　　　　　　　　発表場所：

투 고 일 :投稿日：

----------------------------------------------------------------------------- -------------------------------------------------- ---------------------------

**\* 논문심사 안내 등 필자와의 연락은 E-mail과 우편을 통해 이루어집니다.** **＊論文審査の案内など、筆者との連絡はE-mailと郵便を介して行われます。** **필자의 E-mail과 주소를 명기해 주시기 바랍니다.** **E-mailと住所をご記入ください。**

**\* 한국연구재단 파일 업로드를 위해 필자의 주민등록번호가 필요하니, 반드시 주민등록번호를 명기해 주시기 바랍니다.** **＊韓国研究財団のファイルのアップロードのために、韓国人の場合、筆者の住民登録番号の後ろの第1桁までが必要となります。必ず住民登録番号（外国人登録番号）をご記入ください。**































**韓国語の原文テキスト:**

\* 작성 프로그램 : 한글 2007 이상 (해외투고자에 한해 MS-Word 2007 사용 가능)

翻訳を改善する